

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION

シオン

No.

35

2015



●ZIONコレクション-4

「シオンの四季オルゴール」

昨年校歌に正式決定された「シオンの四季」が、オルゴールで聴けることになった。マホガニー色の美しい木箱が奏でる清らかな音色…。調べは優しくどこまでも響き渡る。母校の思い出をそっと乗せて。

厳しさの中にも自由な発想を

◆学園のキーマン

副校長

蟹沢和久先生

いわき市在住



学園を訪ね、応接室で待機している
と、スラリと背の高い蟹沢先生が入っ
て来られて、「何だか緊張しますね」と、
一言。

★蟹沢先生のご出身は…

福島県いわき市勿来で小・中学校に

通いました。高校は福島県立湯本高校
でした。その後、茨城大学理学部数学
科に進み、卒業と同時にシオンに勤め
ました。昭和61年4月でしたね。

実は中学生の時、シオンを受験した
かったのですが、担任から「蟹沢君で

は無理…」と言われて、受験しませ
んでした(笑)。その頃は女子高のよう
なイメージをもっていました。

★教頭になられたのはいつ…

恩師からシオンで教員を募集してい
ると教えられて受験しました。昭和61
年から勤務しましたから、早いもので
29年が過ぎましたね。

この学校はとても環境が良く、生徒
達も自由な発想を持っていて素直に
育っていると思います。家族には怒ら
れるかもしれませんが、私の生活の
80%が学校のことになります。東日本
大震災の後、教頭に就任したのですが、
将来を見据えた復興に向け、教職員一
同で頑張りました。現在、常磐線を利用
して通勤していますが、毎日さわやか
に挨拶してくれる生徒達に元気を
もらっています。

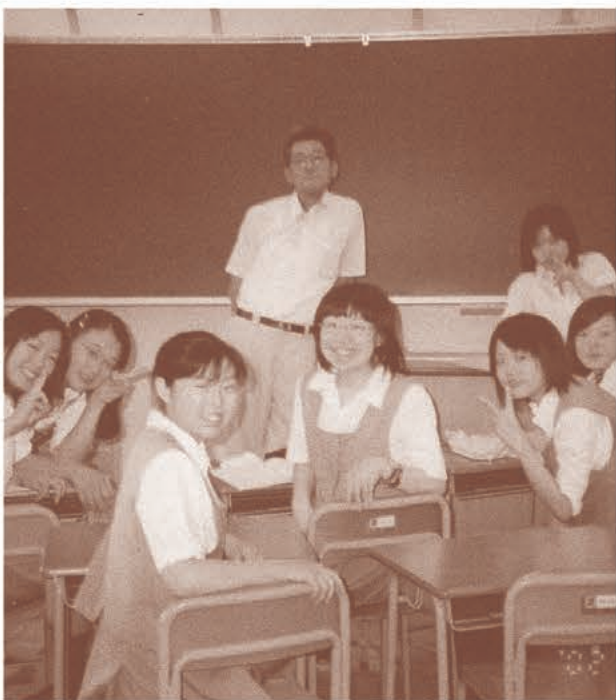
★学園の将来は…

これから広い世界で活躍できるよう
なグローバル教育を目指しています。

多くの課題もありますが、単なるグ
ローバル化ではなく、綺麗な日本語や
和の文化を理解した上での国際化が重
要かと思えます。学園内には大学もあ
りますので、大学との共栄も充分考え、
シオン独自のグローバル化を目指す
よう頑張りたいと思っています。

● ● ●
学園の将来の姿が、教職員の方々の
努力によって少しずつではあるが方向
が示されている。眼鏡の奥に時々キラ
リと光る眼光と「釣り」の話に興じる
時の笑顔のギャップは、優しさで厳し
さの両方を備えているからだと思う。
また、インタビュウの中で気になった
キーワードは、「周りが幸福なら自分
も幸福」「目標を持つ」「自由な発想」「社
会への貢献」などで、これらが蟹沢先
生の教育のモットーなのだろう。

先生は、取材後の4月1日、副校長に就
任されました。



12年前の夏休み課外授業風景

昭和60年
1985年

36回生の
頃を

16

あ

の



白銀に描いた青春のシニプール!

●滑って、転んで、食べて、飲んで、騒いだ、天元台・スキー教室

大塚智幸(仙台市在住)
金野公則(那珂市在住)
渡邊 香(日立市在住)

かつて高校時代にスキー教室があったのをご存知だろうか。行き先は山形県の「天元台スキー場」。「懐かしい!」と思われる方は勿論、「えっ、スキー教室なんてあったっけ?」と言われる方も、まあ、スキー教室に参加した36回生の思い出話を聞いて下さい。

大塚 ぼくがスキー教室に参加したのは、1年と2年の時でした。1年の時は生まれて初めてのスキーだったので、3年生の先輩方が足を揃えて滑ってくるのを見てとても憧れました。なんせ、スキーっていうのは、ゲレンデをターンして降りてくるということを初めて知ったというくらいの超初心者でしたから。

渡邊 スキー教室は中学と高校が合同でした。わたしは中学1年から大学1年まで7年間参加したけれど、ずっと行き先は「天元台」だった。大学1年の時は、中学生の面倒を見るよう恩師に言われ、昼

間は中学生にスキーを教え、夜は体育の原田先生、森田先生と同じ部屋にご一緒させて頂きました。

金野 スキー教室というと、夜の学校に集合し、夜中バスに揺られてスキー場に行く、っていうだけでワクワクドキドキしたのは記憶にあります。また、ロープウェイで白布温泉まで降り、夕食を食べて、温泉街を歩き回ったのも楽しかった。

大塚 温泉に入ったのを覚えています。真っ赤な絨毯で、確か「オリンピック風呂」という名前だったような…。洗いは男女別々なのに、湯船が中でつながっている混浴タイプの温泉だった。

金野 真っ赤な絨毯の所で写真を撮ったのを覚えています。当時はやっていたデザート蛍光色のウェアを着ていた先輩方がかっこよかった。特に足を揃えて滑ってくる先輩方に憧れました。

大塚 ぼくたちがボーゲンで一息懸命滑っていたのに、赤いウェアを着ていた留学生(インドネシアから来ていた)が第一リフトから一番下まで直滑降で滑っていたのもすごかった。

夕食にジンギスカンが食べたくなり、いい気になって油をどんどん入れたら、鉄板が油ピタピタになってしまった。あれ



以来羊肉は嫌いになった。それから、缶詰を開けようとして指を切って大騒ぎになったような…。

渡邊 それは私です。缶切りなしの缶詰のふたを開けようとして、右手薬指をバツサリ切ってしまった。激痛と出血に耐えながら、次の日米沢の病院で治療してもらいました。包帯でストックも持たず、ストックなしで滑っていました。あれ以来、缶切り不要の缶詰は未だに怖いです。先生方には迷惑をおかけして申し訳なかったのですが、それ以上に良い思い出です。



河野香代子
(旧姓奥村24回生)
ひたちなか市在住

人の役に立ちたい!

茨城県全域を対象に、人材研修・社員研修、葬儀の司会業の派遣を行う、女性だけの会社(有)スパークルの取締役をしている。

本学園の中学・高校・短大を卒業後、日立製作所水戸工場に入社。そこで人生のパートナーと出会い、退社。その後幾つかの職を経験する中でリウマチを患う。治療中に何か「人の役に立てる仕事をしたい」と考えるようになる。

そして知人を介して今の仕事に巡り合う。中学から短大までコーラス部に席を置いた美声と、高校で生徒会役員を経験して培った指導力・積極性もあってか、「天職」と自他ともに認める。

楽しみは孫の顔を見ること、カラオケで歌うこと。

花が大好き

「茅根学園・日高幼稚園」を創設した牧師の父の影響で、本校に入学し、幼児教育にも関心を持った。

卒業後は、シオン短大に進学。その後、専門学校で保育士の資格を取った。

父の幼稚園で仕事をし、園長まで勤めあげて退職した。

しかしその後も、園児たちと花壇の手入れをし、花々を育て、摘み取った草花を飾り付けて、園児との交流を続け楽しんでる。

退職後は時間の余裕ができ、山形の雪の中で温泉に感動し、母校へはXmas礼拝・合同礼拝でキアラ館へ。昨年12月、スウェーデンの歌手レーナ・マリアのクリスマスコンサートを聴いた。久し振りの学園は校舎が立ち並び、迷子になりそうだった。



茅根素子
(14回生)
日立市在住



蛭川貞好
(4回生)
横浜市在住

今も現役です!

昨年、同窓会東京支部発会式に飯田勝夫君と参加して大いに楽しんだ。

本校へは、本命の県立受験前の腕試しで受験した。ところが、両親が学園の自然環境を甚だ気に入り、勧められるまま入学。

入ってみると、男子よりも女子が多い。クラス数も少ない雰囲気が気に入った。

友人とカルテットを組み、ピアノ・アコーディオン担当で、学内外で演奏を楽しんだ。

大学進学では医者への夢があったが、恩師の「これからはケミストリーの時代だよ」の一言で東北大学理学部に入学した。卒業後は大手食品会社の主に研究部門に従事し、退職後はキャリアを活かして「蛭川技術事務所」を設立。今も多忙な毎日を送っている。

針無し注射器を製造・販売

米国・INJEX社長

福島正義(14回生) ロサンゼルス在住

福島さんは、カリフォルニアで針無し注射器を製造・販売する米国の上場企業INJEX社の会長を務める。針無し注射器とは、微小ノズルから薬を体内に噴射させる注射器。針が無いため患者への恐怖心や医療事故の低減が期待されている。

本校へは、英語を学ぶ目的で入学。恵まれた自然環境の中で3年間を謳歌し、柔道初段も取得した。恩師の小嶋掛札述夫先生とは、来日のために会食するなど今も交流が続いている。

その後、マーケティングを学ぶためにテキサス州アヒリンクリスチャンカレッジに進学。「正義感」という道場を作り、柔道を教えて生活費を稼いだ。更に、空手を習い、瓦割りや命がけの対戦の様子が新聞で報道され、空手の技を取り入れた体操をテレビで教えることが大当たり。高級車ムスタングを購入してデートに活用。卒業式の翌日に大学同窓の米国人と結婚した。この地では、命を懸ければ何でも叶う事を学んだ。

30社程の会社を作り、成功と失敗を繰り返して55歳で引退。しかし、「何かをしたい」との気持ち湧いてINJEX社を買収した。会社経営の傍ら、二〇〇六年から新瀉大学大学院でビジネス戦略を学んでいる。技術経営研究科を卒業し、現在は現代社会学



化研究科博士課程で、針無し注射器の向上のために大学と共同研究を行っている。

米国を拠点に世界各国を巡り企業経営者との交流も多い。問題が起こった時は一人で悩まず、Facebook等を活用して大勢の人に問いかけるとアイデアや解決策が出てくる。「人間が作った問題なら必ず解決できる」が信条。週3日のゴルフと夫人とのウォーキングが健康の秘訣。

これからの目標は、執筆と針無し注射器の日本での販売、富山大学での人工細胞の研究など多彩だ。

ピンチはチャンス!

パールパッド開発

内田まり子(20回生) 水戸市在住

まり子さんの「頭の中の研究所」は、独創的な発明や可愛らしい作品を次々と生み出してきた。パールパッドもそのひとつ。

二〇〇七年、左胸にしこりを見つけました。乳がんだった。ピンチ! 切除手術を受け、退院後も抗がん剤、放射線と、辛い治療が続いた。傷痕が痛み、体のバランスも崩れる。ふと、左のポケットに携

味噌玉世界旅

美亜さんは、気ままな世界一周旅行を楽しむバックパッカー。2013年6月に日本を立ち、昨年までにアジア、中東、ヨーロッパ17カ国を回った。今年は中南米8カ国を回り、8月に米国でゴールを迎える予定。

高校では聖書の授業や礼拝、講演会などから、人生を考え生きることのおもしろさを学んだ。カナダオンタリオ州立カールトン大学で政治経済学を学び帰国。企業で3年間働いた後、友人と今回の旅に出た。異なる環境と価値観を持つ人々に直接出会い、自分を見つめたかったからだ。

そしてもう一つの目的が、「味噌汁を世界で食べてもらう」こと。新潟と伊豆の製造元から味噌と鰹節の提供を受けて、行く先々で味噌汁を振る舞い、紀行文を「ジャパン味噌プレス」に執筆している。

旅の様子はインターネット「味噌玉世界旅」でどうぞ。



谷田部美亜 (54回生)
那珂市在住



村上泰弘 (64回生)
茨城県日立市消防本部
北部十王出張所勤務
日立市在住

使命感に燃えて!

東日本大震災の過酷な現場で救助に当たる消防士の働きは、卒業後の進路を決める大きなきっかけとなった。

採用後、県立消防学校で、消火や救助作業、その他消防士育成の基礎的な猛訓練を受けた。

高校野球部で培われた精神と体力を発揮し、県内でも希な高校卒業生で最年少の特別救助隊(レスキュー隊)に任命された。早くも最大の目標をクリアしたが、取得すべき資格は他にもある。

母親の英子さんは、「これからの体験を経験に生かして頑張ってください」と語る。

大震災時、体の不自由な祖父をいち早く避難させた臨機応変な判断と行動力は、これからの現場で生かされるに違いない。



大泉瑞恵 (44回生)
高萩市在住

瞑想の先に見えるものは…

インドを起源とするヨガが日本に上陸して久しい。

瑞恵さんは、インド政府公認シヴァナシタヨガの正式指導員。また、全米ヨガライセンスも取得した数少ないエキスパートである。

本学園大学の英語英米文学科卒業。転勤地の東京で、精神的充実感を得られるヨガの世界に出会い、その後、インドに渡り、ヨガの正典Vedantaを学んだ。

現在は、高萩と日立のスタジオ「ダルサナヨガ」で指導する傍ら、シニア教室も始めた。最近では、自然と対話しながら行うピーチヨガも好評。将来的には、指導者が社会的に認識され、学校教育や予防医学の分野で役立つ事を願っている。

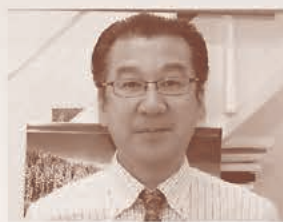
野球がしくて…

子供の頃は野球少年で、甲子園出場への夢があった。縁あって高校野球部の体験入部をし、当時の県立高に無かったナイター設備、専用グラウンドを目にして入学を決めた。

入部後は、熱血指導者・有馬正人先生の下で、朝から夕、いや晩まで野球漬け。高校生活の思い出はそれ以外記憶にないと言う。

高校卒業後野球を断念。家業を継ぐため写真専門学校に入学。(有)タナカカメラの2代目となった。

父の代はカメラ機器の販売が主流であったが、今は、デジカメプリントの仕上げ、結婚式・学校行事等の記念撮影やビデオ撮影等の仕事で忙しい。仕事の合間、年に1・2回は夫婦旅行を楽しんでいる。



板津伸祐 (34回生)
高萩市在住



材料を吟味し、ブラを分解して型紙を起こした。治療しながらの試行錯誤が続く。絹素材でパッドを縫い、中には粒綿、プラスチックビーズ、それに淡水真珠を少し入れてみた。真珠は静電気を抑え、自然な形状に整えてくれる。よ

帯電話を入れてみると具合が良い。「これだ!」そんな時にこそ閃き即行動するのが内田さん。「適度な重さのパッドを作ろう。着心地が良く、美しいものを」。もちろん乳がん患者用のパッドはある。ビニールにジェルを入れたもの、重く冷たい。大切な胸の代わりには悲しすぎる。乳がんで胸を失うことへの喪失感は大きい。手術後も病に立ち向かう心を支えるために、良いものを作らなければ…。

うやく納得できるものが出来てきた。試着した手術経験者は、皆はっと表情が輝いた。「ぜひ商品化して多くの方に喜んでもらう」と、意欲が込み上げてきた。

さあチャレンジャー特許出願は通った。しかし、「商品化」してくれる企業探しが難航。そこで、企画を新聞社に送ってみると記事になり、反響の大きさに驚かされた。「このパッドを望んでいる人がこんなにも沢山」。もう突き進むしかない。当たって砕けるぞ、大手通販会社に直談判。熱意が通じていよいよ製品化にこぎ着けた。さらに、テレビのニュース番組でもとり上げられたことで反響は益々大きくなり、プロがデザインしたレース柄の美しいパッドは生産が間に合わないほど好評。

さて、内田さんの行動はここで止まらない。病室再発で療養中の二〇三年、一連の顛末を本に綴った。「なんじゃもんじゃの木」文芸社。ピンチはチャンスである。

生徒一人ひとりにアメリカのスポンサー

あなたが本学園に入学した時、あなたのアメリカのスポンサーはどなたでしたか。

1948年財団法人シオン学園が設立された際、学園経営の一環として、後にICF(Ibaraki Christian Foundation)茨城キリスト教学園後援財団となる「学生援助計画」がスタートした。高校、短大、後に中学、一部教員などからなる、個人1人当たり・1ヶ月5ドルのアメリカからの学費援助を受けるスポンサー制度である。

当時、アメリカと学園の双方の連絡や事務に係っていた渉外課の1人、川上美代子さん(8回生川上浩氏夫人)によ

ると、アメリカ各地から送られてきた献金者のリストからカードを作り生徒達へ渡すことと、礼状を書くためのアドバイスなど、毎日忙しかったという。

また、引き続きこの献金(財源)の確保を図るため、1954年、本学園のPR誌(茨城クリスチャン・エドゥケーター)を発行して学園の様々な行事、生徒達の様子などをレポートしてアメリカへ送った。この広報誌の表紙は、当時の美術講師・栗林紅美子先生によって、葛飾北斎の版画や尾形光琳などの美しい日本画でデザインされ、これを受け取ったスポンサー達に日本の美しさを印象付けたことと思われる。

1963年来日したギボニー先生夫妻は、この広報誌の編集に係り、また高校教師として教鞭をとっていた。長い足を折り曲げるようにして小型のルノーに乗っていた先生夫妻を覚えている人もいだろう。昨年7月に半世紀ぶりに学園を訪れたギボニー夫人は、新しい学園の姿に感動されていた。

生徒達は自分のスポンサーという認識のもとに、お礼の手紙を書いたり、写真やプレゼントを送ったり、互いに自由に交流し合った。多くの人は卒業した時点で終わりとなったが、16回生の岡田真子さんは、同年配のバーバラ・ウッド・ヴァーチャムさんと今でも交流が続いている。20年前、10年前とお互いの家族ぐるみで、アメリカで会うことができたという。

また、アメリカの往年の人気歌手パット・ブーンもデビュー以前から「5ドル献金」を続けていた熱心な後援者だっ



スポンサーからのプレゼント

た。そのスポンサーとしての相手は、なんと当時の社会科の小鴨(掛札)先生だった。1964年には先生に会いに、パット・ブーンがアメリカから来日し、その日、学園は日曜日だったにもかかわらず、多くの生徒が集まって憧れの歌手の来園を喜んだ。

このような様々なエピソードを秘めながらこの制度も1970年頃まで続いたが、時代の流れと共に終息となった。昔の生徒達にとっては懐かしい思い出となっているだろう。



茨城クリスチャン・エドゥケーター



パット・ブーンが来園(1964年)



スポンサーとの文通カード

「ZION」発行への寄付のお願い
15,000人以上の卒業生への「ZION」発行と送料で200万円以上が必要です。毎年資金が不足しております。一人20,000円以上のご協力をお願いします。
(「ZION」紙に同封の振込用紙をご使用ください)



「オルゴール」で聴くシオンの四季

清らかな音色を思い出と共に楽しみ下さい

1960年に生徒会の愛唱歌として誕生した「シオンの四季」が、昨年「校歌」に正式決定された(関連記事=ZION34号)。同窓会は決定を記念して、オルゴールを制作し、数量限定で販売します。詳細はホームページをご覧ください。

- 受付・販売開始=2015年6月6日
- 価格=6,000円(消費税込)
- 販売個数=限定100個
- 問い合わせ=高校同窓会事務局

●平成26年度同窓会への寄付者一覧(104名)
(合計金額586,930円) ご好意ありがとうございました。

1 大高泰	伊藤友俊	中野恵
2 宮内エミ子	18 郡司任孝	33 小田部智津子
3 市川甫子	富田ひろ子	34 石黒文明
澤田敬也	小林友子	35 野寺聰子
5 大山寿	宮本せつ子	37 直井久美子
高野倉子	平山恵	磯崎幹子
瀬木昇	19 大月寛子	大津和気子
8 加藤志津江	染谷啓子	鈴木直子
9 藤田俊子	野上悦子	38 甲高恵美子
今村純一	手塚正子	高江洲容子
10 幡谷靖子	20 菅原卓子	村山めぐみ
長山誠	沼田敏江	39 中村美織
11 佐藤光正	21 南田文子	40 野部偉子
竹内広子	22 打越紀子	41 織田将裕
中崎千世子	古内朱実	43 土田絵里子
山口和子	山田敬一	永富彰子
堀江賢二	23 山本友好	46 井上直行
大谷俊恵	佐藤芳子	47 横田千春
戸張紀子	藤田芳彰	59 大森真理子
小野武久	武士一枝	60 山口和輝
12 荒崎久子	弓野孝子	61 倉岡忠実
伊藤佳子	24 廣瀬隆也	小橋稔彦
船山勝彦	板木紀代	62 大峠百合香
13 近沢博子	25 前島裕子	大森翔一郎
石川育子	栗原昌子	64 平野有紗
佐藤佐起子	後藤謙一	松川大樹
皆川睦子	上桑泉	三浦茉珠
14 杉山悦子	27 和田恵子	匿名 3名
丹羽智恵	大森明美	愛真会
岡田敏子	29 永山卓弥	13 回学年会
井坂敬子	岡田浩子	旧職員 菅原信子
浅野伊津子	宮原育代	旧職員 関本文子
17 若松守正	30 廣木貞之	旧職員 粕合壽征
塩川文雄	31 渡辺利枝	

部員は最大の73名にも膨れ上がり、2つの部室をやりくりして練習日程を組んでいる。部室を覗くと、ドラムセットやアンブがきれいに並び、キーボードは新品だった。ここにPAシステムが加わ

みんなで歌おう!
■フォークソング部



活発に活動して益々勢いを増すフォークソング部を、ぜひ応援したい。

り、いつでも迫力満点のライブ演奏が披露できるという。顧問はピアノやギターを始め、多くの楽器を演奏される桑藤一男先生。部活動を誰よりも楽しませてくれる様子だ。
活動は4期に分けられ、1期は楽器ごとのセミナーを開き、先輩が1年生に基本から指導する。セミナーは楽しい交流の機会となっている。2期は学園ライブを成功させようと必死に練習に励む毎日。学園祭当日は、部員たちがたくさん聴衆を前に演奏できる喜びを実感する時だ。3期はクリスマスライブ。4期は新入生歓迎ライブに向けての練習期間となる。

第26回女子全国高等学校駅伝競走大会で22位

■陸上競技部(女子)

京都市西京極総合運動公園陸上競技場で昨年12月21日行われた同大会に、9年連続19回目の出場を果たし、前回の35位から22位と大躍進した。



●同窓会東京支部発会式

平成26年7月19日、東京・京王プラザホテル。来賓に鈴木龍夫校長を招き、93名が参加して、無事同窓会東京支部発会式を執り行いました。

ありがとうございました!

- ◆3名の先生方が勇退されました。
- ◆ご逝去されました。
- ・有馬正人先生(保健体育)
- ・熊谷芳郎先生(2015年3月)
- ・小貫光夫先生(英語)
- ・藤枝欣一先生(2014年4月)
- ・正躰和夫先生(社会)

開催しました!!

- 13回生「古希の会」
平成26年10月、テラス・ザ・ガーデン水戸。41名参加。
- 16回生同窓会
平成26年6月14日、水戸・山口楼本店。23名が参加。
- 20回生同窓会
「日光と会津若松方面1泊2日の旅」
平成26年11月10日～11日。19名が参加。
- 30回生同窓会
「母校見学と三の丸ホテルにて同窓会」を開催。
平成26年9月14日。参加者93名。
- 32回生同窓会
平成26年9月13日。水戸ホテルシーズン。41名が参加。
- 寮生の集い
平成26年6月8日。ホームカミングディ終了後、記念会館で。17名参加。

<総務委員会よりお知らせ>

- 住所変更等の連絡は、メール ih-dousou@icc.ac.jp または、FAX 0294-53-9271 で 同窓会事務局へご連絡くださるようお願い致します。

楽しさ満開「シオン祭」

11月3日のシオン祭では、毎回好評のサザコーヒー、笠間焼の陶器、衣類、文具、雑貨などが販売された。収益金98,246円は、同窓会の活動資金として寄付された。

シオン祭の同窓会コーナーのアイデアを、事務局又は近くの役員にお寄せ下さい。



お待ちしてま〜す!
平成27年度

ホームカミングデー

■日時：6月6日(土) 午後1時30分〜4時
■会場：キアラ館Ⅱ総会

学生会館Ⅱ楽しい集い

★今年は、8、18、28、38、48、58回生が、ヒーロー及びヒロインです。
いいことあります。そして出席ください。
★差し入れは、もちろん大歓迎です!

- 第一部：平成27年度同窓会総会
- 第二部：楽しい集い



櫻川流
江戸芸かっぽれ
萩谷斗笠(9回生・萩谷斗美)
●東京オリンピック前夜祭に出場決定!!

■同窓会事務局：0294・52・3215

編・集・後・記

新体制となって3年目の同窓会活動も、各部会でスムーズに実施されるようになった。Z10035号では、シオンの四季」をあなたにというキャッチフレーズで、特製オルゴールを制作販売することになり、シオングッズのひとつとなった。マイライフコーナーも充実。昨年社会人として学園を巣立った若い同窓生の今後の活躍を期待したい。

これからの同窓会運営も財政難の中進められるが、同窓生各位の更なるご支援をお願いしたい。

(KK)

●編集スタッフ：ブキャノン理枝子・佐藤寿子・瓦吹堅・手塚正子・水庭敬子・荒川眞理子・原田順子・藤原智子・松田玲子・芳賀友博 ●デザイナー：ミズ

Hollylock
株式会社フットボールクラブ
水戸ホーリーホック
TEL.029-212-7700

…安全と安心のお手伝い…
安全保護具●非常災害用品●空気呼吸器他保護具
防火用品●土木標識全般及びリース●感染症対策用品
＜消防・防災用品の総合商社＞
EK 栄興防災株式会社
水戸市住吉町32-2 TEL029-247-2255
(6号水戸バイパス住吉町四中入口交差点より入る)

スマホ無料アプリ COCOAR2 をインストールしてこの広告をスキャンしてみてください!!
日立の非公式キャラ、
つながるくんを紹介動画がご覧いただけます。COCOAR2
で楽しい思い出を提供します
日立高速印刷株式会社
http://www.hkp.co.jp
TEL0294-35-3511
FAX0294-34-5166

日立栗原
たけだ
TAKEDA
日立市田尻町5-14-3 Tel/Fax:0294-43-3524

9月5日(土)!!
水戸徳川ミュージアム
野外コンサート
JAZZ・Latin・シャンソン・カンツォーネ
青木FUKIライブ
シャンソン&カンツォーネ・カルチャー
毎月第4日曜日
パーパームーン
水戸南町

Wave-agiato
HAIR MAKE EXTENSION
日立市幸町1-13-11 TEL 0294-22-9335

カクテルと食彩の店
とらたん
日立市幸町1-12-4
pmビル5F
Tel.0294-22-1030
(株)魚武
魚武本店(弁当、仕出し等)
日立市弁天町1-12-12
TEL0294-22-0241
和食屋 まんぼう
日立市弁天町1-11-7
TEL0294-21-7700
日立ゴルフクラブレストラン
日立市滑川町3033
TEL0294-22-5659

信頼・安心のブランド 住宅用太陽光専門店
京セラソーラーFC
ソーラー発電は京セラ
（株）住まいるカワシマ
http://smil-kawashima.jp
本社：ひたちなか市津田1398-1 Tel029-273-9000
日立：日立市川尻町5丁目4-15 Tel0294-42-7111

Enesta エネスタ
TOKYO GAS GROUP
「ガス機器に関する」お問合せ・ご相談は…
エネスタ多賀
TEL 0294(36)2520

いいものを創りたい。
㈱ 罇間印刷所
水戸市本町2-1-26
TEL 029-221-3048

HOME ROASTED SAZA COFFEE
SINCE 1969
鈴木嵩志男(10回卒)
本社：ひたちなか市共栄町8-18
TEL 029-274-1151
www.saza.co.jp

★広告掲載(有料)希望される方ご一報ください

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION No. 35

●発行日/平成27年5月1日

●発行人/金澤克彦

●発行所/茨城キリスト教学園高等学校同窓会

〒319-1295茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL.0294-52-3215(代) FAX.0294-53-9271

http://www.icc.ac.jp/zion/ E-mail:ih-dousou@icc.ac.jp